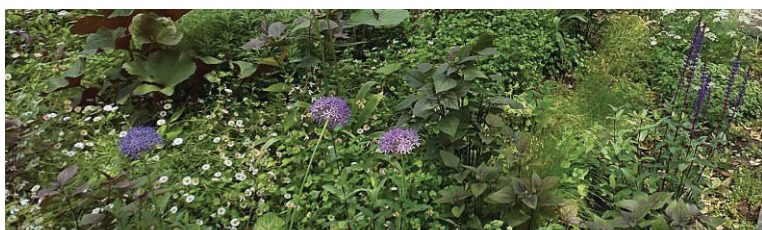


都筑区 ナチュラルガーデンの すすめ

雑木林や草地にみられる自然の風景をお手本に、
もっと肩の力を抜いて
花壇やガーデニングを楽しんでみませんか？

花壇のお世話で苦労されているみなさんに、
気軽に楽しめる「ナチュラルガーデン」の
魅力や作り方をご案内します



ナチュラルガーデンとは

自然をお手本に、植物の魅力を引き出して任せるのがナチュラルガーデンの手法です。大事にしたいポイントは4つ！

■ 自然の風景と一体化する

ナチュラルガーデンの花壇は、周りの風景となじんで互いに引き立て合う姿を目指します。そのため、その場の地形や園路の形を生かすようにしつらえます。花壇を目立たせることよりも、周りも含めた風景をつくるのが大切です。



■ 四季の移ろいを大切に

ナチュラルガーデンでは、春に芽生え、夏に茂り、秋に色づき、冬に枯れる植物の季節のリズムを、ありのままに楽しみます。花だけでなく、葉の色や形、シードヘッド（タネをつけた花）や秋冬の枯れた姿もあえて残し、楽しみます。



■ 草花を曲線的に、自然体に配置する

ナチュラルガーデンでは、草花を柔らかな曲線を描いて自然体に配置し、くつろいだ雰囲気をつくります。また、さまざまな草花を自然な配置で植えれば、少しの雑草なら目立ちません。



■ 宿根草・多年草を中心に植える

花の数が多く、華やかなかわりに頻繁な植え替えが必要な一年草の草花と、少し地味な印象ながらも、長生きして植え替えのいらぬ宿根草・多年草。それぞれの特徴を知り、うまくその力を引き出してあげましょう。花壇の骨組みを宿根草・多年草で作るとぐっとお手入れが楽になります。



ナチュラルガーデンづくりの流れ

美しいナチュラルガーデンをつくり上げるには、花壇づくりの手順に沿ったステップを踏むことが大切です。

Step1 花壇をつくる所を観察する

花壇の予定地だけでなく、花壇の周りにもよく目を配りましょう

花壇の予定地の周辺の景観や使われ方をふまえ、花壇の場所を決めます。その後、日当たりや土壌の湿り気などの環境条件を観察しましょう。



Step2 テーマを考える



テーマは伝えやすい言葉を選びましょう

どのような花壇にしたいのか、例えば「春に花が咲く」「チョウが舞う」など、ここで過ごしたい景色のイメージを言葉にして、テーマを設定しましょう。

Step3 植物を選ぶ

冬の景色もイメージしながら植物を選びましょう

花壇予定地の環境、テーマに合うように、図鑑などの情報を参考に花壇の植物を選び、植物の組み合わせを考えます。普段のお手入れにどのくらい手間がかけられるかも考えて選びましょう。



Step4 配置案をつくる



花壇に植える花苗は曲線的に、自然体に配置しましょう

Step3 で作成した植物リストを元に、花壇の完成像を想像しながら、植物の配置や用意する植物の数を決めます。丸いものを花苗に見立てて並べるのもよいでしょう。

Step5 植物を植える

実物を前にした感覚を大切に。置いてみてから微調整もあります

植物リストを元に花苗を入手します。しっかりと土をほぐして堆肥等で土づくりをしたら、配置案を参考に花苗を植え込みます。



Step6 お手入れをする



最初は頑張っ、あとは無理せずほどよく自然に任せましょう

植えた後しばらくは、草とりと水やりをしっかりと。その後は、植えた植物のトリミングが主な作業になり、水やりは少なくなり、草とりも徐々に楽になります。

ナチュラルガーデンの都筑区おすすめレシピ

ナチュラルガーデンづくりの流れについて見てきましたが、ここでは、都筑区的环境に合った「都筑区おすすめレシピ」を紹介します。

環境条件と植物選びのポイントに沿って植物を選び、「日陰」「半日陰」「日向」の3パターンについてまとめました。下の写真の植物は、みなさんの身近なところで、比較的入手しやすいものを選んでいきます。より植物を詳しく知りたい方は、「都筑区ナチュラルガーデンの手引き」の「ナチュラルガーデン植物リスト」も御活用ください。

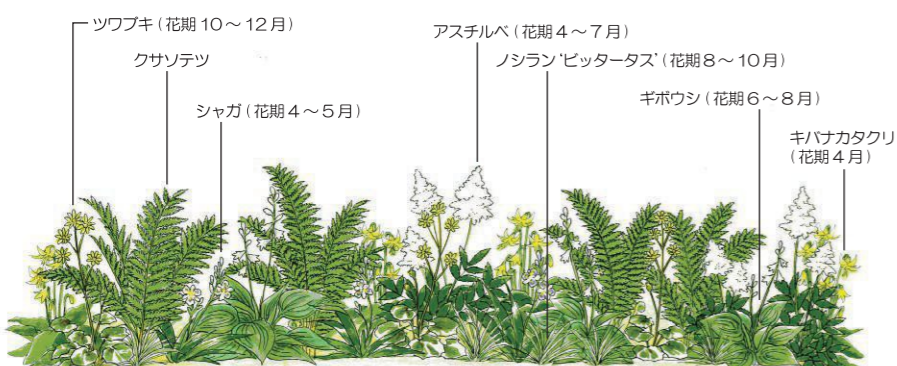
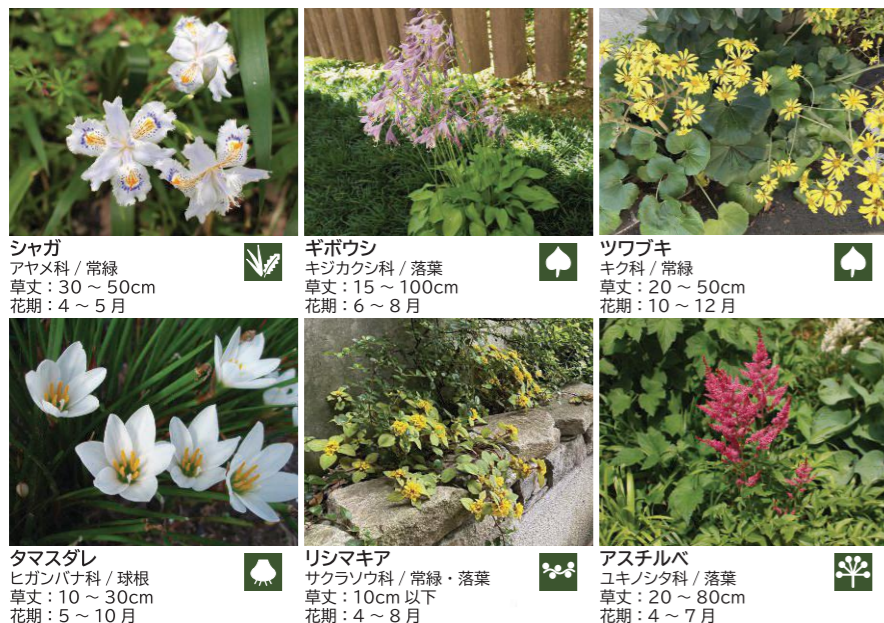
植物選びのポイント

- ・ 都筑区的环境や風景になじむもの
- ・ 花色が派手すぎないなど、ナチュラルガーデンのイメージに合うもの
- ・ なるべく風にそよぐような姿で、風景に動きが出るもの
- ・ 近い種が日本に自生しており、育てやすいもの
- ・ 種や地下茎などで周囲に広がりすぎたりせず、野生化しにくいもの
- ・ 都筑区にもともと生えている植物と雑種をつくりにくいもの

日陰の植物レシピ

葉の組み合わせが楽しい、しっとり艶やかな森の花壇

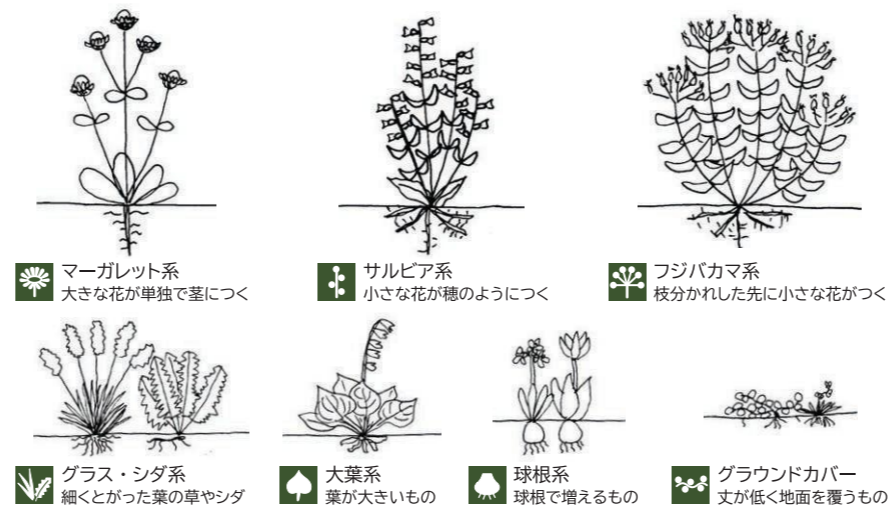
暗い森の中に暮らす植物を選べば、日陰でも落ち着いた雰囲気の花壇をつくれます。葉の形や色を組み合わせると、花のない季節も華やかになります。



【イメージ例】葉を楽しむ日陰のガーデン

植物の姿形の7タイプ (上段3タイプ：立ち上がる茎あり 下段4タイプ：立ち上がる茎なし)

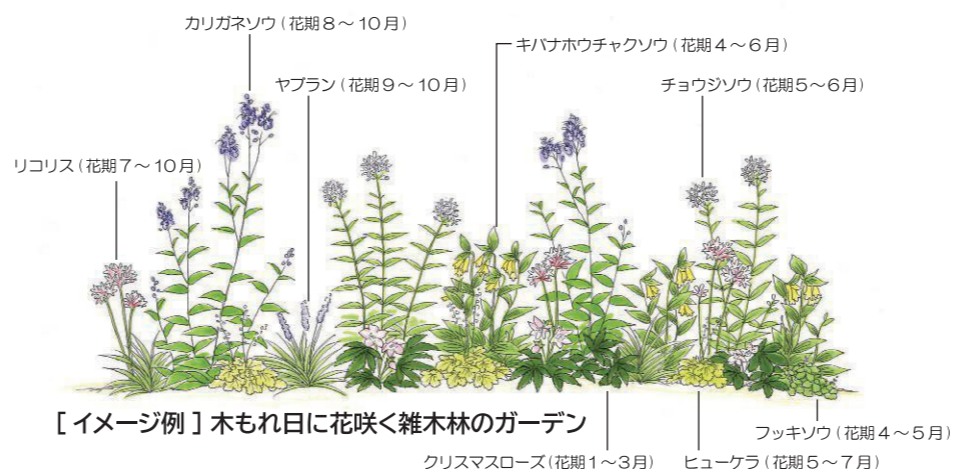
花壇にさまざまなタイプの植物を組み合わせると、より楽しくなります。全タイプを網羅するように選ぶと、それだけでナチュラルな雰囲気をつくれます。



半日陰の植物レシピ

木もれ日に四季の花々が揺れる、明るい雑木林の花壇

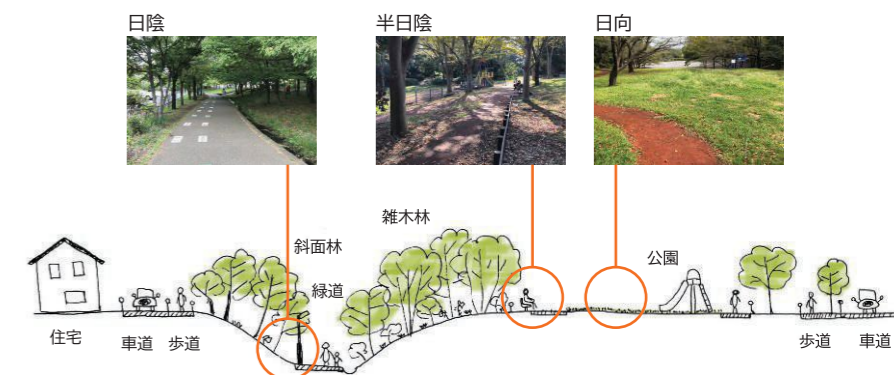
雑木林の縁や明るいところに生える植物を選びました。木々の葉が落ちて春に咲くものも多く、里山の雰囲気を楽しめます。



【イメージ例】木もれ日に花咲く雑木林のガーデン

都筑区で見られる代表的な緑の環境

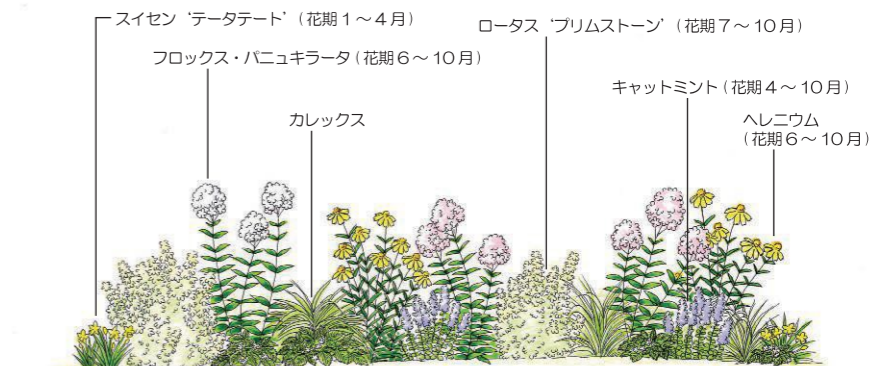
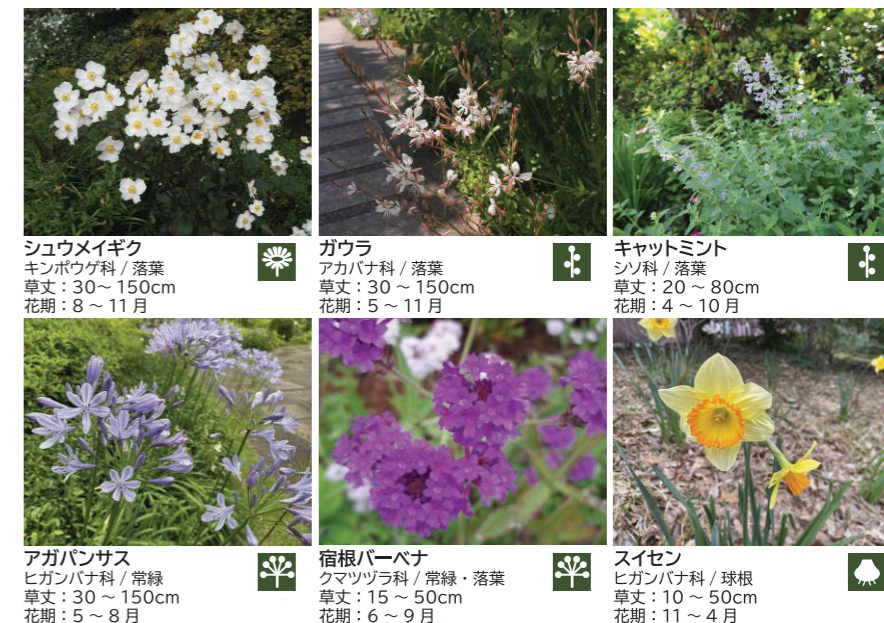
都筑区には里山の風景が残り、緑道によって区内の緑がネットワークで繋がられています。下の断面図は、区内でよく見られる環境をあらわしたものです。この図から、花壇をつくろうとしている場所がどんな環境かを想像して、その場所に合った植物選びをすると失敗が少なくなります。



日向の植物レシピ

風にそよぐ、明るい原っぱの花壇

背の高い植物を選ぶと、動きのあるガーデンをつくれます。花の時期や姿形のバランスを意識して、組み合わせを楽しみましょう。



【イメージ例】草原をイメージした日向のガーデン

※花期、草丈は目安です。諸条件により異なります。

ナチュラルガーデンの魅力

■花壇づくりの楽しさをまちに広げる

- ・花壇を真ん中にして花好きの裾野を広げましょう
- ・ローメンテナンスのお手入れで仲間を増やしましょう
- ・花壇の花をプレゼントしたり、挿し木や種を分け合ったりして、花壇づくりの楽しさを味わいましょう

花壇を作り、お手入れすることで、花をきっかけとした繋がりが生まれます。お手入れが無理でも、見守ったり応援したりという繋がりが大切です。時にはトリミングした花でブーケや挿し木をつくって贈り合うこともできます。



■生き物の新しい居場所ができる

- ・さまざまな植物が植えられたナチュラルガーデンには色々な虫が来ます。虫が集まれば、鳥も訪れます
- ・花壇やガーデンに生き物が集まると、都筑区の自然がさらに豊かになります

ナチュラルガーデンは、多様な植物が生育する原っぱや雑木林がお手本です。そこには様々な虫たちがやってきます。蜜を吸うもの、時には葉などを食べるもの…そしてその虫を狙って鳥やクモなども集まります。ひとにとって美しい花壇やガーデンが、生き物にとっても集う場所になります。



都筑区の取り組み

都筑区ではみどり豊かな特色をいかし、公園や緑道における花壇づくりの手法として、ナチュラルガーデンの取組(※)を行ってきました。このパンフレットは、その手法を紹介した「都筑区ナチュラルガーデンの手引き」から、区民のみなさまが、まずはやってみようと思っただけのよう、要点をまとめたものです。

ぜひ一緒に、ナチュラルガーデンの手法を取り入れながら花壇やガーデンングを楽しんでみましょう！

※事例紹介：取組の一貫で開催した講座での学びをいかして、牛久保東ハマロードの花壇が生まれ変わりました。

以前の一年草花壇



多年草を取り入れたナチュラルガーデン



「都筑区 ナチュラルガーデンの手引き」

(発行：横浜市都筑区都筑土木事務所)



https://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kurashi/machizukuri_kankyo/jimusho/gesuido/natyrarugadenntebik.html

★詳しく知りたい方は上記の手引きもどうぞ！

お問い合わせ

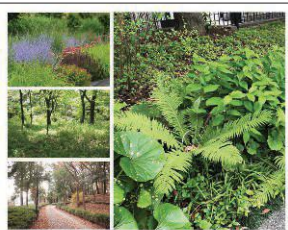
都筑土木事務所 下水道・公園係

〒224-0032

横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1

電話：045-942-0606

FAX：045-942-0809



都筑区

ナチュラルガーデンの
手引き

令和2年3月
横浜市都筑区都筑土木事務所